



Science Winds

サイエンス・ウインズ

関西学院大学理工学部同窓会コミュニケーション・レター

NO. 12
Dec. 2016

ご挨拶

関西学院大学理工学部同窓会会長 高井 明德

理工学部同窓会の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

理工学部では創設 50 周年を経て新たな飛躍が始まり、今年度 3 つの新学科が誕生し、入学定員 700 名の 9 学科体制がスタートしました。2 学科 100 名時代から見ると想像も出来ない変化ですが、理学部時代の良さを継承しつつ、新たな発展は同窓としても楽しみです。

社会では多くの同窓が活躍していますが、後輩がよりよく継承してくれるために、在学生と同窓生との積極的な交流の必要性が感じられるようになりました。そこで、本年度の同窓会は「同窓生—在学生交流」をテーマで講演会・懇親会を開催し、有意義な時間を持つことができました。同窓会の充実へ向け、加藤学部長をはじめ、理工学部の教職員の皆様には積極的に協力いただき感謝しております。喜ばしいこととして、次年度学部長に同窓の水木純一郎先生が就任することが決まりました。さらなる理工学部との連携が期待されます。しかし一方では、同窓生の集いとしての有意義な活動も考えていく必要があると考えています。東京支部同窓会も本年第 4 回目の同窓会を開催し、多数の同窓が集い、今後の発展が期待されます。お気軽にご意見等伺えれば幸甚です。

本年の同窓会を振り返って

関西学院大学理工学部同窓会副会長 朝井 邦治

本年 12 月 10 日の理工学部同窓会は、初めての試みとして在学生の皆さんと合同の講演会・懇親会を開き、約 40 名の参加がありました。開催にあたっては、学部長をはじめ、事務室の皆様や学生団体メインズの皆様大変お世話になり感謝しております。同窓生は最近の若い学生さんの行動や考え方について知ることができ、また在学生の皆さんには先輩の経験談や仕事に対する取り組み方、社会人としての心構えなどいろいろ吸収していただけたのではないかと思います。アンケート結果でも参加してよかったという声がたくさん聞かれました。理工学部ができて 55 年を越え人数的にも理学部時代の 7 倍となった現在、同窓会のあり方も変わっていかねばならないと考えており、種々の方策を試行しています。今回の試みもその一つでしたが、同窓の皆様方も、同学年・同学科・同研究室という横のつながり、そして、先輩・後輩の縦のつながりを大切に、同窓会へのご参加をお願いいたします。

変革の時代の中で

関西学院大学理工学部長 加藤 知

時代の流れに棹させば自分を見失い、古きにしがみつけば取り残される。変革の時代の中で理工学部がどのように進んでいくべきか、かじ取りはむずかしい。これは、5 年間理工学部長をした率直な感想です。創設の精神を生かしつつ、新しい酒を新しい革袋に注ぎ込むには、共有すべき目標、人の繋がり、取捨選択の勇気そして祈りが必要です。祈りは私たちを包む普遍的なものに繋がることです。ここに関学らしさがあります。

“Mastery for Service” をパイロットとして神の栄光のために働く理工学部こそ、関学が目指す理工学部です。学内でも様々な改革が進んでおり、課題は雪のように降り注いでいますが、それを溶かすに余りある熱が関学にはあると感じます。大きく 9 学科となった理工学部の特徴を生かして知の次元を広げ、社会貢献に取り組み、学生が立ち返るべき原点となる理工学部を育てていくために、同窓の皆様熱き祈りをお願い致します。

ご報告

同窓会では、昨年（2015 年度）の総会で、総会は隔年に行うことに決まりました。しかし、講演会や懇親会、その他の活動は、年に 1 回は開催する予定です。今までの慣例にとらわれない新しい同窓会の活動も必要と考えています。同窓会のご案内はホームページを中心に行っていきますので、ホームページをご覧ください。

理工学部同窓会賞・理工学部同窓会奨学金

同窓会賞は本年 3 月 18 日卒業式において授与し、奨学金授与は 7 月 20 日（授与式は 12 月 10 日同窓会で）行いました。

2015年度 同窓会賞受賞者

物理学科 溝畑 尚幸
化学科 池田 佑子

2016年度 同窓会奨学金授与者

数理科学科 佐藤 佳子
物理学科 万年 結奈
化学科 山羽 紗代
生命科学科生命科学専攻 寛島 卓弥
生命科学科生命医化学専攻 古川 哲
情報科学科 大迫 裕樹
人間システム工学科 山田 篤拓

2016年度 関西学院大学工学部同窓会開催

<同窓生 - 在学生交流会>

2016年12月10日 西宮上ヶ原キャンパス高等部において開催

本年の同窓会は、同窓生と在学生の交流をテーマに行いました。講演会では、安藤正道氏にこれから社会に出ていく在学生へ向けてのメッセージを含む内容でご講演いただきました。ご自身の研究開発、企業の在り方、企業で勤めること、最近の若者の状況分析などを交え、在学生に向けて、また同窓生にとってもインパクトのある興味深いお話でした。懇親会では、在学生のメインズのメンバーが進行を務め、在学生が将来に向けて思うことや考えること、また質問等を先輩方に投げかけ、一方同窓生も親身になって答え、有意義な同窓会となりました。

講演会「社会の歯車になる」

安藤 正道

(1988年物理学科卒 村田製作所部長・博士(工学))

今回お話しする内容は学生のみなさんへのメッセージです。

私は、多くの企業の方々と悩みや夢を共有しながら仕事を進めています。その中で最近の若い技術者の傾向や期待すること等についてよく言葉を交わします。頻繁に出てくるキーワードは、「挑戦しない人が増えた」「安定志向の人が増えた」というものです。これは大企業に特有の事なのかもしれません。大企業を目指してこられる方の多くは少なからず「安定」を目指してこられます。幼少の頃より様々なことに関してほとんど欠乏感を感じずに暮らしてきた方が、変わらない日常を大切にするというはある意味当然のことなのかもしれません。しかし企業というのは、何かの分野で日本のトップである、或いは世界のトップであるということが普通であり、常にトップを維持し続けるには、結局挑戦し続けねばならないのです。挑戦を止めると大企業といえども、あっという間にその座を奪い取られます。

何かを目指して創意工夫を重ねるといことは、どんな職業に就いたとしても重要なことだと私は思います。多くの方がインターネットに慣れ親しんでいます。問題を解決する術はネットの中に沢山転がっている事を皆知っています。しかし何かに向かって創意工夫することの答えはインターネットの中にはありません。必死で考え、地道に作業を繰り返し、ある日突然ハードルを“くぐる”ことに成功する。或いは、悩みぬいた揚句、予期せぬ時に突然画期的な発想に辿り着く。こういうことをセレンディピティと言います。私の経験からすると、セ



レンディピティを得る上で大切なことの一つは、多くの人と言葉を交わすということです。

就職するということは、組織の一員になることです。それは取りも直さず企業や社会の歯車になることです。時にこの「歯車」という言葉はネガティブな意味に捉えられがちですが、それは単純な浅い考えに基づいたものです。大切なことは、「その歯車には動力があるのか」「どれほど多くの歯車と噛みあうのか」ということです。目指すべきは動力があり強くて大きな歯車になることです。それが即ち、まず社会に出て最初に自分たちが行う「挑戦」というものだと思います。社会とは多くの人と関わり、直接的、間接的に影響しあいながら物事を進めていく所です。上で述べたように、セレンディピティに基づく新しい発想や、大きな成果は人との関わり合いから生まれてくる事が多くあります。これは個人主義でない日本の強みとも考えられるところです。

人との繋がりや自分の力を何倍にも高めてくれます。新しい道、新しいフィールド、新しい発想、これらのことの多くに人がヒントをくれます。頑張っても得られた成果の喜びは、人と分かち合った方が大きくなります。ピンチを助けてくれるのも人です。それが即ち社会の歯車であるということです。

<演者プロフィール>

株式会社 村田製作所 新規商品事業部 有機機能デバイス商品部 部長。1988年株式会社村田製作所入社、2004年まで移動体通信の基地局用高電力マイクロ波フィルタの開発と事業化に従事、1992年 世界で初めて誘電体多重モード共振器を用いたデュプレクサの実用化に成功、1995年 村田製作所として井上春成賞受賞、2002年 京都府発明功労者表彰優秀賞受賞、2007年 単独で圧電性ポリ乳酸(PLLA)とそれを用いた電子デバイスの研究開発を開始、2013年 有機圧電センサとして商品化に成功、同年 IDW '13 Best Paper Award 受賞、2014年 関西大学システム理工学部 理工学研究科 博士課程修了 博士(工学)、2016年 文部科学大臣表彰科学技術賞受賞、静電気学会進歩賞受賞。

サイエンス・ウインズ No.12 (2016) 発行 関西学院大学工学部同窓会 2016年12月1日
SCIENCE WINDS: Communication Letter from the Alumni Association of the School of Science and Technology of KGU

URL <http://www.kgus-alumni.org/> E-mail: information@kgus-alumni.org

関西学院大学工学部同窓会事務局 〒555-0021 大阪市西淀川区歌島1-4-4 寿印刷(株)内
理工学部住所: 〒669-1337 兵庫県三田市学園 2-1 関西学院大学神戸三田キャンパス(KSC)